

羽山伸一（はやましんいち）

日本獣医畜産大学獣医学部助教授

1982年、ゼニガタアザラシ研究グループの創設に参加。以来、日本産大型野生動物の研究・保護活動に従事。現職以外の活動は以下の通り。

#### おもな学会活動

日本野生動物医学会・理事・野生動物保護委員長

日本哺乳類学会・保護管理専門委員会委員

日本環境会議・理事

#### おもな社会活動

農林水産省・鳥獣による農林水産業被害対策に関する検討会・座長

環境省・野生鳥獣保護管理検討会・委員

神奈川県鳥獣総合対策協議会委員・サル専門部会長

東京都鳥獣害対策委員会・委員

群馬県野生鳥獣対策協議会・委員

千葉県ニホンザル保護管理計画検討会・委員

静岡県カワウ保護管理検討会・会長

#### おもな NPO 活動

千葉環境再生推進委員会・助成部会委員

(財)日本自然保護協会・理事

(社)日本獣医師会・野生動物委員会・委員長

特定非営利活動法人・野生生物保全論研究会・理事

特定非営利活動法人・野生動物救護獣医師協会・理事

特定非営利活動法人・生態教育センター・顧問

特定非営利活動法人・バードリサーチ・運営委員

特定非営利活動法人・ふくしまワイルドライフ市民研究者フォーラム・副代表

特定非営利活動法人・どうぶつたちの病院・副理事長

#### 清水享（しみずとおる）

1952年 京都府生まれ。同志社大学卒業。輸入電化製品会社で北海道に転勤後、獣医畜産機器会社を経て、現在サージミヤワキ（株）で電気柵を使った放牧システムや野生動物と人間との共生を目指して電気柵の普及に専念している。主な活動として、農水省主催の獣害対策研修会での展示・発表、農水省委託里山水田放牧用電気柵の開発、その他設計施工及びアフター業務を行っている。

栗原裕治（くりはらゆうじ）

1950年生まれ。静岡県出身。千葉市在住。南カリフォルニア大学工学部卒業。システムエンジニア。民間非営利シンクタンク「組織工学研究所」勤務を経て、コンサルト会社を共同経営。1999年にNPO法人千葉まちづくりサポートセンター（ポーンセンター）の設立に参加。コミュニティシンクタンクとして、市民参加のまちづくりや地域自治に関連する調査・研究及び政策提案活動を行っている。現在副代表。2004年まで千葉大学非常勤講師。

後藤章浩（ごとうあきひろ）

1984年名古屋市生まれ。動物サミット2001（TAPS 主催）にてさまざまな動物問題があることを知り、動物の福祉に関心を持つ。2002年に帝京科学大学理工学部アニマルサイエンス科に入学。SWEET HEART（動物の命の大切さを考える会）という動物福祉のサークルを立ち上げ、現在まで多岐に渡る動物問題を調査し取り組んできた。同サークルは140名の参加者がある。2005年、「I LOVE VEGEー行列のできるベジ料理店」という、ベジタリアン料理を研究しながら畜産動物の福祉を考えるサークルを新たに発足させて現在活動中。野生動物では、移入種や地元のカワウの研究などに取り組んでいる。

石山大（いしやまだい）

1983年生まれ。松戸市在住。東京農工大学農学部獣医学科4年。入学時から野生動物に興味を持ち様々な調査やイベントに参加している。カワウの有害鳥獣駆除に何度も立ち合い、野生動物との軋轢について考えるようになる。

2003年にNPO法人市民社会創造ファンドのSSCSインターンシッププログラム第1期生としてNPO法人行徳野鳥観察舎友の会で1年間活動した。現在、野生動物医学会学生会農工大支部長、農工大のサークル「野生動物研究会」代表などを務める。

中野真樹子（なかのまきこ）

仙台生まれ。1988年より動物との共生を考える非組織ひげとしっぽ企画を主宰。1994年に麻布大学獣医学部入学、2000年卒業。拙書に「実験動物の解放」（91年カタツムリ社）他。現在は往診専門の獣医師の他、東京ホテルビジネス専門学校講師、IFAW（国際動物福祉基金）調査員、ちば動物共生条例プロジェクト実行委員会事務局長、InterNICHE（人道的教育のための世界ネットワーク）日本代表、千葉県ニホンザル保護管理計画検討会・委員など。